2022年（令和4年）
第41号
（12月15日）

平安だより

HEIAN letter

発　行　所：立正佼成会　京都教会
発行責任者：渉外部長　澤村悦玄
編集委員長：渉外広報　植田恭司
〒605-0041　京都市東山区三条東町 230
TEL (075)762-2211　FAX (075)762-2266

青少年によるクリーン宇治運動　～宇城久明社が初参加～

宇城久明るい社会づくり運動の会は、11 月 27 日、「第７９回青少年によるクリーン宇治運動」に参加し、社会の一員としての自覚と郷土を愛する心を培うことに貢献しました。

この運動は、宇治市教育委員会と青少年によるクリーン宇治運動実行委員会との主催で毎年行われていたものですが、明社の社会貢献の一環として「地域の活動に、無理なく持続可能に」との視点から、今年度の事業計画で予定していたもので、今回約 30 名の会員が初めて参加したものです。

午前９時に宇治神社に集合した会員は、宇治橋から塔の島周辺、吊り橋までの宇治川両岸及び大吉山周辺を約１時間かけて清掃。はじめに花房会長から「紅葉シーズンのなか楽しんで下さい」の言葉通り、清掃しながら紅葉を楽しむことも出来ました。

活動終了時にはごみの分別を行い、また宇治市からの参加記念品と山崎製パンからパンの提供があり、参加者は笑顔で無事終了することが出来ました。

第 11 回ありがとうコンクール　～発表と記念品贈呈が行われました～

第１１回ありがとうコンクールの表彰が１２月８日、成道会式典後に行われ、最優秀作品１点、優秀作品２点の発表と記念品贈呈が行われました。

今回は 27 件の応募があり、中には季節感を表した作品や、ありがとうの効能を表した作品など、工夫を凝らしたものもありました。

◎最優秀作品

・ありがとう　何気なく普通に過ごせる　日々に　感謝する

（乙訓支部　中島希依）

【作品への思い・エピソード】

８月に東京にいる息子一家が１歳８ヶ月の孫に至るまで順番にコロナに感染しました。息子の嫁が感染した日の夜に不思議な事に、我が家の娘まで感染。主人と下の息子は濃厚接触者にはならず、私も濃厚接触者にならない様な接触具合。でも関わってやれるのは私だけの状態で、祈願供養をさせて頂く毎日でした。

お陰様で誰一人重症化することもなく、自宅待機の生活で回復しました。そんな生活を過ごした後での「ありがとうコンクール」だったので、思わずその時の素直な気持ちを表現させて頂いた次第です。

◎優秀作品

・ありがとうと　想える事が　ありがたい

（右京支部　中野雅透）

・ありがとう　夫婦げんかの　予防薬

（乙訓支部　松井克友）

令和４年、私たちは「どこでも道場　祈り祈られ　笑顔と涙によりそおう」を実践して参ります。

京都教会のホームページが出来ました。https://rkk-kyoto.jp/